



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 米山 和恵 (TEL) 03-6911-0550
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月30日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	20,529	△0.0	296	△51.1	313	△53.0	143	△69.4
2024年3月期	20,533	4.1	606	82.1	666	72.7	469	129.9

(注) 包括利益 2025年3月期 122百万円 (△74.2%) 2024年3月期 472百万円 (108.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	10.67	—	2.2	3.3	1.4
2024年3月期	34.90	—	7.3	7.2	3.0

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	9,325	6,640	71.0	491.76
2024年3月期	9,727	6,653	68.0	491.56

(参考) 自己資本 2025年3月期 6,621百万円 2024年3月期 6,618百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	△17	△49	△185	5,315
2024年3月期	713	△41	△140	5,570

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	134	28.7	2.1
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	134	93.7	2.0
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		56.1	

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,200	△0.8	158	14.1	178	34.7	108	43.3	8.02
通 期	20,550	0.1	340	14.5	380	21.3	240	67.0	17.82

(注) 詳細は、添付資料6ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社(社名)― 、除外 ―社(社名)―
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	15,145,175株	2024年3月期	15,145,175株
② 期末自己株式数	2025年3月期	1,680,693株	2024年3月期	1,680,693株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	13,464,481株	2024年3月期	13,464,496株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績					(%表示は対前期増減率)				
	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年 3 月期	144	△6.5	△99	—	△96	—	△19	—	
2024年 3 月期	154	0.0	△64	—	△61	—	11	△91.8	

	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	△1.48	—
2024年 3 月期	0.89	—

個別経営成績に関する注記
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

		総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
		百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期		3,376	3,333	98.7	247.57
2024年3月期		3,514	3,487	99.2	259.05

(参考) 自己資本 2025年3月期 3,333百万円 2024年3月期 3,487百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載いたしました業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく分析・判断によるものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績につきましては、経営環境の変化等により、異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	15
(会計方針の変更)	17
(収益認識関係)	18
(セグメント情報等)	19
(1株当たり情報)	23
(重要な後発事象)	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済の状況は、雇用環境の改善、所得環境の良化による個人消費の持ち直しや、インバウンド消費の増加により景気は回復基調が続きました。一方、国際情勢は、米国は株高により個人消費を押し上げましたが、中東情勢の不安定化、中国不動産市場等の低迷、関税引上げもあり、景気の先行き不透明感が強まりました。

このような環境の中、当社グループの状況につきましては、為替の影響を受けたアスモトレーディング事業は、商品の価格高騰と気候の問題による輸入船の遅延により商品確保が厳しい状況が続き、売上に影響を及ぼしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高20,529百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益296百万円（前年同期比51.1%減）、経常利益313百万円（前年同期比53.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、143百万円（前年同期比69.4%減）となりました。

営業利益、経常利益の減少は、物価高騰や各事業における人件費の増加が主な要因であります。

今後におきましても、各事業の状況に応じて売上高の拡大や利益率の改善を推し進めることで、業績の向上に向けグループ一丸となって邁進してまいります。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸入、食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス東日本)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス) (株式会社アスモライフサービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営、食品加工販売
その他 (ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営 ※事業を休止中

アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、世界的なインフレ、日米金利差からの円安進行による価格高騰に加え、気候の変動や世界情勢の不安による物流の遅延が重なり、商品の安定供給が大きく崩れた環境が続いております。さらにアメリカのトランプ大統領就任以後は関税措置の発動により需給バランスが大きく崩れたことで食肉の卸売事業に大きな影響を及ぼしました。

7月に1US\$=162円を記録した際にアメリカのインフレによる牛肉価格の高騰が重なり価格がかつてないほどの高額になり、9月には1US\$=140円と急激に円高進行となるも、年末に向けて1US\$=158円となるまで円安が進行したことで、商品価格が乱高下し、需給バランスを大きく崩しました。

自社輸入によるメキシコ産冷蔵牛肉の販売においては、7月の高価格の環境下で販売量が激減し、9月に円高に推移してから年末までは再度円安に戻りましたが、減少した販売を取り戻すべくお客様へのアプローチに尽力してまいりました。年明け以後は円高が進行したことでさらにお客様への再アプローチができており、より一層の販路拡大に向けた取り組みを行っております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、3,922百万円（前年同期比11.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、35百万円（前年同期比53.5%減）となりました。

今後におきましては、昨年のかつてない価格の変動を想定し、自社輸入による商品の販売に関して安定的に販売数量を維持するために、より輸出先の企業と綿密な交渉を行い、お客様が継続販売可能な価格設定を行いつつ既存のお客様以外にも新規のお客様に対しても積極的にアプローチを進めてまいります。加えてWEB販売事業やふるさと納税返礼品への出品などの販売チャネルの増加による販路拡大を目指し、インバウンド需要にも対応してまいります。

アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、日本国内の高齢化率は上昇しており、有料老人ホームをはじめとする介護需要は高まり、給食施設は年々増加をたどっております。第4四半期においても、新規受託先が3施設増え、売上は順調に推移致しました。給食ニーズが増加する中、年齢やアレルギー対応など中身も多様化、細分化し、原材料費の高騰など弾力的に価格転嫁しにくく、利益の減少要因となりました。また人材の確保が経営上の重要課題のひとつであり、賃金面など処遇改善に努めた結果、費用が増加致しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、8,469百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、232百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

今後におきましても、コスト管理の徹底を図りながら、お客様に寄り添った給食提供をし、新規受託に繋がる営業活動に取り組んでまいります。

アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所及び有料老人ホーム運営事業を営んでおり、介護業界全体としては、恒常的な人手不足とそれに伴う人件費の上昇など不安定な状況で推移いたしました。また、先行きの見えない物価高騰も大きな影響をもたらしておりますが、限られた資源の有効利用を念頭に入れながら日々の運営に努めてまいりました。

しかしながら、季節性インフルエンザ感染症などの影響により、ご利用者様数が減少する事象もあり、当連結会計年度は、売上、利益ともに厳しい結果となりました。

当連結会計年度末現在、訪問介護事業所34事業所（前年同期末は35事業所）居宅介護支援事業所11事業所（前年同期末は12事業所）となり、支援させていただいておりますご利用者様（※）は1,955名（前年同期末は1,986名）となりました。また、有料老人ホーム7施設（前年同期末は7施設）のご入居者は398名（前年同期末は377名）となりました。（※）介護タクシーでの介護保険利用者を除く

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、5,464百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益（営業利益）は、316百万円（前年同期比33.9%減）となりました。

今後におきましては、更なる介護需要を取り込む施策の一環として、新規有料老人ホームの開発も見据えながら、業績ならびに介護サービス提供力の向上を図ってまいります。

ASMO CATERING（HK）事業

ASMO CATERING（HK）事業におきましては、外食事業は昨年9月末に退店した啓田神楽屋店を除く、現存する12店舗について、対前年売上比96.2%と振るわず、特に旧正月期間である2月において89.9%と大きく落ち込んでしまいました。祝日、連休など休みが多い月に売上が下がってしまう傾向はここ2年で常態化しております。そのような中、賃貸契約において、現存する12店舗のうち9店舗は2025年度中に契約更改があるため、家主である日系スーパー及び百貨店に対して、前回更改時に賃料を含めた契約条件を下げてもらいましたが、それでも売上減少傾向が止まらないため、今年度においても更なる契約条件を下げていただく交渉を進めてまいります。他の3店舗も、香港のデベロッパーが運営する商業モール内にある店舗ですが、今回の契約更改までにはおよそ1年以上あり、コロナ禍を経て回復すると思われていた香港の小売、飲食市場が以前の状態にはすぐには戻らないことは、家主であるデベロッパーも承知しているので、合意に至らない場合は退店するというケースも想定しております。

今後も、外食事業と卸売事業というシナジー効果のある2本立てで運営を続けていくべきと考えておりますので、既存店の退店により外食事業が消滅することを防ぐ為に、新たな外食事業を模索する必要があり、コロナ禍を経て、香港ではこれまであまりニーズの無かった『中食』市場をターゲットとした、日本の弁当、総菜を販売する『delicatessen彩』の業態の出店を検討してまいります。

同業態は、現存の日系スーパー内、或いは路面店でも出店可能であり小規模、低投資で出店でき、また卸売事業とのシナジーにおいても最も効果の高い業態です。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、2,668百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント損失（営業損失）は、48百万円（前年同期セグメント損失65百万円）となりました。

当社の各業態は、リーズナブルな定食、御膳などのセットメニューを得意としており、競合する飲食店とは違った特色を強化してまいります。

卸売事業においては、引き続き好調に推移しておりますので、外食事業の再構築を図ることにより会社トータルとしての業績の改善を目指してまいります。

その他の事業

その他セグメントに含まれております、ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITEDは、2019年3月を期末とする連結会計年度以降、事業を休止しております。

以上の結果、当連結会計年度のセグメント損失（営業損失）は0百万円（前年同期セグメント損失0百万円）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における総資産は9,325百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円減少いたしました。

これは主に商品が25百万円増加、現金及び預金が254百万円、受取手形及び売掛金が132百万円、建設仮勘定が38百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は2,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ388百万円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債が24百万円増加し、支払手形及び買掛金が137百万円、未払金が94百万円、未払法人税等が155百万円、その他流動負債に含まれる預り金が25百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は6,640百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が9百万円増加し、退職給付に係る調整累計額が5百万円、非支配株主持分が15百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.0%（前連結会計年度末は68.0%）となりました。

セグメントごとの資産の状況は以下のとおりであります。

アスモトレーディング事業

当連結会計年度末におけるセグメント資産は907百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円減少いたしました。これは主に商品が26百万円、リース資産が5百万円、未収消費税が4百万円増加し、現金及び預金が117百万円、売掛金が120百万円減少したことによるものであります。

アスモフードサービス事業

当連結会計年度末におけるセグメント資産は1,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。これは主に売掛金が61百万円、商品13百万円、未収入金が9百万円増加し、現金及び預金が25百万円減少し、貸倒引当金が13百万円増加したことによるものであります。

アスモ介護サービス事業

当連結会計年度末におけるセグメント資産は2,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が71百万円、未収法人税等が9百万円増加し、売掛金が59百万円、リース資産が19百万円、貸付金が18百万円、未収入金が13百万円、預け金が7百万円、繰延税金資産が5百万円、前払費用が4百万円減少したことによるものであります。

ASMO CATERING (HK) 事業

当連結会計年度末におけるセグメント資産は513百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が45百万円が増加し、商品が14百万円、売掛金が13百万円、有形固定資産が9百万円、差入保証金が4百万円、前払費用が2百万円減少したことによるものであります。

アスモ事業

当連結会計年度末におけるセグメント資産は2,997百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円減少いたしました。これは主に貸付金が17百万円、無形固定資産が11百万円、有形固定資産が4百万円増加し、現金及び預金が226百万円減少したことによるものであります。

その他の事業

当連結会計年度末におけるセグメント資産は22百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は5,315百万円となり、前連結会計年度末に比べて254百万円の減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは17百万円の支出となりました。これは主に税金等調整前当期純利益282百万円、売上債権の減少による収入135百万円、退職給付に係る負債の増加額18百万円、仕入債務の減少による支出136百万円、法人税等の支払額314百万円などによるものであります。

また、前連結会計年度に比べてキャッシュ・フローが731百万円減少している主な要因として、売上債権の増減額の減少（前年同期比+268百万円）、税金等調整前当期純利益の減少（前年同期比△368百万円）、仕入債務の増減額の減少（前年同期比△342百万円）、その他の負債の増減額の減少（前年同期比△204百万円）、棚卸資産の増加（前年同期比△62百万円）、法人税等の支払額（前年同期比△46百万円）などが挙げられます。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは49百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出69百万円、建設協力金の回収による収入23百万円などによるものであります。

また、前連結会計年度に比べてキャッシュ・フローが8百万円減少している主な要因として、有形固定資産の取得による支出（前年同期比+3百万円）、無形固定資産の取得による支出（前年同期比△9百万円）、差入保証金の差入・回収差による収入（前年同期比+14百万円）などが挙げられます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは185百万円の支出となりました。これは主に短期借入金の純額の減少による支出22百万円、リース債務の返済による支出35百万円、配当金の支払額127百万円などによるものであります。

また、前連結会計年度に比べてキャッシュ・フローが44百万円減少している主な要因として、短期借入金の純増減額による減少（前年同期比△52百万円）、リース債務の返済による支出（前年同期比+19百万円）、配当金の支払額（前年同期比△12百万円）などが挙げられます。

資本の財源につきまして、当社グループの運転資金・設備投資は一部の子会社の借入やリース債務を除き、自己資金により充当しております。当連結会計年度末の有利子負債残高は短期借入金22百万円及びリース債務35百万円の合計58百万円でありますが、リース債務の順調な返済及び一部の事業におけるリース資産の減少により、前連結会計年度末と比較して35百万円減少しております。

資金の流動性につきましても、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高が5,315百万円であることから、十分な資金を確保できており、小規模なM&Aや隣接事業への拡大についても対応できる水準であります。

(4) 今後の見通し

米国の関税政策や移民政策の強化による経済への影響、中東情勢等の地政学リスクの長期化、中国不動産市場の景気低迷による長期化懸念等、予測しづらい状況です。

次期の業績予想につきましては、売上高20,550百万円、営業利益340百万円、経常利益380百万円、親会社株主に帰属する当期純利益240百万円と見通しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

動向の変化に応じて適時開示してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしておりますが、I F R S（国際財務報告基準）については、今後も制度動向等を注視してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,640,442	5,385,649
受取手形及び売掛金	2,248,085	2,115,930
商品	362,769	388,287
貯蔵品	13,047	13,209
その他	278,986	258,903
貸倒引当金	△3,716	△3,566
流動資産合計	8,539,615	8,158,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	518,182	537,519
減価償却累計額	△465,483	△470,635
建物及び構築物（純額）	52,698	66,883
機械装置及び運搬具	24,609	24,609
減価償却累計額	△17,787	△20,066
機械装置及び運搬具（純額）	6,821	4,543
工具、器具及び備品	289,365	293,378
減価償却累計額	△264,533	△255,284
工具、器具及び備品（純額）	24,831	38,094
リース資産	132,172	110,806
減価償却累計額	△92,487	△83,290
リース資産（純額）	39,684	27,516
建設仮勘定	38,081	—
有形固定資産合計	162,117	137,038
無形固定資産		
リース資産	3,654	4,170
その他	644	8,850
無形固定資産合計	4,299	13,020
投資その他の資産		
投資有価証券	820	1
長期貸付金	335,290	348,256
差入保証金	498,444	494,980
繰延税金資産	200,786	194,196
その他	551,382	559,274
貸倒引当金	△565,570	△579,209
投資その他の資産合計	1,021,153	1,017,499
固定資産合計	1,187,569	1,167,558
資産合計	9,727,185	9,325,971

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	869,614	732,100
短期借入金	44,510	22,340
リース債務	29,382	17,083
未払金	825,442	730,489
未払法人税等	182,122	26,564
賞与引当金	203,335	202,463
その他	630,359	641,501
流動負債合計	2,784,766	2,372,543
固定負債		
リース債務	19,497	18,772
退職給付に係る負債	269,428	293,781
固定負債合計	288,926	312,553
負債合計	3,073,692	2,685,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	4,485,564	4,494,612
自己株式	△340,899	△340,899
株主資本合計	6,467,937	6,476,985
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△268	△233
為替換算調整勘定	156,666	156,104
退職給付に係る調整累計額	△5,772	△11,507
その他の包括利益累計額合計	150,625	144,364
非支配株主持分	34,929	19,525
純資産合計	6,653,492	6,640,874
負債純資産合計	9,727,185	9,325,971

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	20,533,254	20,529,656
売上原価	16,529,300	16,786,362
売上総利益	4,003,953	3,743,294
販売費及び一般管理費	3,397,088	3,446,455
営業利益	606,864	296,839
営業外収益		
受取利息	7,085	8,144
為替差益	27,497	—
助成金収入	28,808	9,648
その他	5,834	1,879
営業外収益合計	69,226	19,671
営業外費用		
支払利息	1,966	1,126
為替差損	—	1,769
貸倒引当金繰入額	6,676	396
その他	509	11
営業外費用合計	9,152	3,303
経常利益	666,939	313,207
特別利益		
固定資産売却益	—	1,083
特別利益合計	—	1,083
特別損失		
固定資産売却損	522	—
固定資産除却損	0	—
和解金	—	5,665
損害賠償金	—	8,657
減損損失	15,535	16,455
その他	—	819
特別損失合計	16,057	31,597
税金等調整前当期純利益	650,881	282,693
法人税、住民税及び事業税	290,560	144,647
法人税等調整額	△96,967	9,604
法人税等合計	193,592	154,251
当期純利益	457,288	128,441
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△12,575	△15,250
親会社株主に帰属する当期純利益	469,863	143,692

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	457,288	128,441
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	206	35
為替換算調整勘定	24,482	△715
退職給付に係る調整額	△9,616	△5,734
その他の包括利益合計	15,071	△6,414
包括利益	472,360	122,026
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	479,671	137,431
非支配株主に係る包括利益	△7,311	△15,404

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,323,272	4,150,346	△340,870	6,132,748
当期変動額				
剰余金の配当		△134,645		△134,645
親会社株主に帰属する当期純利益		469,863		469,863
自己株式の取得			△29	△29
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	335,218	△29	335,189
当期末残高	2,323,272	4,485,564	△340,899	6,467,937

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△474	137,447	3,844	140,817	42,241	6,315,806
当期変動額						
剰余金の配当						△134,645
親会社株主に帰属する当期純利益						469,863
自己株式の取得						△29
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	206	19,218	△9,616	9,807	△7,311	2,496
当期変動額合計	206	19,218	△9,616	9,807	△7,311	337,685
当期末残高	△268	156,666	△5,772	150,625	34,929	6,653,492

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,323,272	4,485,564	△340,899	6,467,937
当期変動額				
剰余金の配当		△134,644		△134,644
親会社株主に帰属する当期純利益		143,692		143,692
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	9,047	—	9,047
当期末残高	2,323,272	4,494,612	△340,899	6,476,985

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△268	156,666	△5,772	150,625	34,929	6,653,492
当期変動額						
剰余金の配当						△134,644
親会社株主に帰属する当期純利益						143,692
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	35	△561	△5,734	△6,260	△15,404	△21,665
当期変動額合計	35	△561	△5,734	△6,260	△15,404	△12,617
当期末残高	△233	156,104	△11,507	144,364	19,525	6,640,874

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	650,881	282,693
減価償却費	93,157	90,454
減損損失	15,535	16,455
和解金	—	5,665
損害賠償金	—	8,657
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	30,843	13,489
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,705	△871
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,005	18,617
受取利息及び受取配当金	△7,085	△8,144
支払利息	1,966	1,126
為替差損益 (△は益)	△5,399	△47
有形固定資産売却損益 (△は益)	522	△1,083
売上債権の増減額 (△は増加)	△132,856	135,933
その他の資産の増減額 (△は増加)	△79,786	△15,100
棚卸資産の増減額 (△は増加)	36,282	△25,918
仕入債務の増減額 (△は減少)	205,319	△136,853
その他の負債の増減額 (△は減少)	123,128	△81,010
未払消費税等の増減額 (△は減少)	24,602	5,147
その他	△202	616
小計	950,208	309,826
利息及び配当金の受取額	1,348	2,653
利息の支払額	△1,966	△1,126
和解金の支払額	—	△5,665
損害賠償金の支払額	—	△8,657
法人税等の支払額	△268,298	△314,725
法人税等の還付額	32,639	310
営業活動によるキャッシュ・フロー	713,930	△17,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△72,997	△69,578
有形固定資産の売却による収入	9,295	9,824
無形固定資産の取得による支出	△350	△9,525
定期預金の預入による支出	△70,027	△70,028
定期預金の払戻による収入	70,026	70,027
差入保証金の差入による支出	△2,675	△102,372
差入保証金の回収による収入	2,950	117,228
貸付けによる支出	△1,778	△21,399
貸付金の回収による収入	1,053	3,253
建設協力金の支払による支出	0	—
建設協力金の回収による収入	23,462	23,462
その他	10	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,030	△49,106

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	29,940	△22,170
リース債務の返済による支出	△55,571	△35,672
自己株式の取得による支出	△29	—
配当金の支払額	△115,178	△127,866
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,839	△185,709
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,737	△2,592
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	551,797	△254,794
現金及び現金同等物の期首残高	5,018,617	5,570,415
現金及び現金同等物の期末残高	5,570,415	5,315,621

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 7社

連結子会社の名称

株式会社アスモトレーディング

株式会社アスモフードサービス

株式会社アスモフードサービス東日本

株式会社アスモ介護サービス

株式会社アスモライフサービス

ASMO CATERING (HK) COMPANY LIMITED

ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED

(2) 非連結子会社の数 3社

非連結子会社の名称

株式会社ぱすと

ASMO CATERING MALAYSIA SDN. BHD.

ASMO CATERING VIETNAM COMPANY LIMITED

連結の範囲から除いた理由

株式会社ぱすと、ASMO CATERING MALAYSIA SDN. BHD.、ならびにASMO CATERING VIETNAM COMPANY LIMITEDは、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であるため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法を適用しない非連結子会社のうち、主要な会社等の名称

株式会社ぱすと

ASMO CATERING MALAYSIA SDN. BHD.

ASMO CATERING VIETNAM COMPANY LIMITED

非連結子会社について持分法を適用しない理由

株式会社ぱすと、ASMO CATERING MALAYSIA SDN. BHD.、ならびにASMO CATERING VIETNAM COMPANY LIMITEDは、それぞれ当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法の適用範囲から除外しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産

a. 商品

国内連結子会社は個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を、また、在外連結子会社は移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

b. 貯蔵品

最終仕入原価法による原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

当社及び国内連結子会社は、建物は定額法、その他有形固定資産については定率法によっております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物	8～15年
機械装置及び運搬具	2～8年
工具、器具及び備品	2～10年

また、在外連結子会社については、重要な有形固定資産について、建物の賃貸借契約期間による定額法によっております。

② 無形固定資産(リース資産を除く)

ソフトウェア

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を考慮し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

当社及び一部の連結子会社は、従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当連結会計年度の負担額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(1年)で費用処理しております。また、数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(1年)で翌連結会計年度より費用処理しております。

③ 小規模企業等における簡便法の採用

一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

当社及び連結子会社は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日)を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で収益を認識しております。

(6) 重要な外貨建資産又は負債の本邦通貨への換算方法

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び非支配株主持分に含めて表示しております。

(7) 重要なヘッジ会計の方法

イ. ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。また、為替変動リスクのヘッジについて振当処理の要件を充たしている場合には振当処理を採用しております。

ロ. ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ会計を適用したヘッジ対象とヘッジ手段は以下のとおりであります。

a. ヘッジ手段…為替予約

b. ヘッジ対象…商品輸入による外貨建買入債務及び外貨建予定取引

ハ. ヘッジ方針

外貨建の商品代金の支払いについて、将来の取引市場での為替相場変動リスクを回避することを目的に行っております。原則として外貨建仕入契約の残高の範囲内で為替予約取引を利用することとし、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針であります。

ニ. ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ対象の相場変動とヘッジ手段の相場変動を比較し、その変動額の比率によって有効性を評価しております。

(8) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(9) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

控除対象外消費税及び地方消費税は、当連結会計年度の費用として処理しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下、「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見通しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社の売上高は、主に顧客との契約から認識された収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	合計
食肉販売	—	4,093,595	—	—	—	4,093,595
加工商品の販売	—	350,109	—	—	—	350,109
給食提供サービス	—	—	7,883,932	—	—	7,883,932
介護サービス	—	—	—	4,796,721	—	4,796,721
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	407,726	—	407,726
飲食店舗（香港）	—	—	—	—	1,258,649	1,258,649
食品加工販売（香港）	—	—	—	—	1,099,664	1,099,664
その他	—	—	—	106,670	151,230	257,900
顧客との契約から生じる収益	—	4,443,705	7,883,932	5,311,118	2,509,543	20,148,300
その他の収益	4,778	—	—	380,175	—	384,953
外部顧客への売上高	4,778	4,443,705	7,883,932	5,691,293	2,509,543	20,533,254

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	合計
食肉販売	—	3,620,238	—	—	—	3,620,238
加工商品の販売	—	302,658	—	—	—	302,658
給食提供サービス	—	—	8,469,326	—	—	8,469,326
介護サービス	—	—	—	4,567,686	—	4,567,686
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	435,240	—	435,240
飲食店舗（香港）	—	—	—	—	1,132,054	1,132,054
食品加工販売（香港）	—	—	—	—	1,491,751	1,491,751
その他	—	—	—	52,075	44,799	96,875
顧客との契約から生じる収益	—	3,922,896	8,469,326	5,055,003	2,668,605	20,115,832
その他の収益	4,778	—	—	409,045	—	413,824
外部顧客への売上高	4,778	3,922,896	8,469,326	5,464,049	2,668,605	20,529,656

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「アスモ事業」、「アスモトレーディング事業」、「アスモフードサービス事業」、「アスモ介護サービス事業」及び「ASMO CATERING (HK) 事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントの主な事業に係る製品及びサービスは、以下のとおりであります。

- (1) アスモ事業…グループ各社の統制・管理、不動産賃貸
- (2) アスモトレーディング事業…食肉の輸入、食肉及び食肉加工品の販売
- (3) アスモフードサービス事業…高齢者介護施設等における食事の提供
- (4) アスモ介護サービス事業…訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営
- (5) ASMO CATERING (HK) 事業…香港における外食店舗の運営、食品加工販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、セグメント間で合意された価格設定基準又は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK) 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	4,778	4,443,705	7,883,932	5,691,293	2,509,543	20,533,254
セグメント間の 内部売上高又は振替高	150,000	38,900	273,792	—	—	462,692
計	154,778	4,482,605	8,157,724	5,691,293	2,509,543	20,995,946
セグメント利益 又は損失(△)	△64,013	76,025	331,109	478,939	△65,224	756,836
セグメント資産	3,193,313	1,107,526	1,847,408	3,041,440	513,872	9,703,562
その他の項目						
減価償却費	3,118	6,726	9,900	22,856	50,556	93,157
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,451	—	3,464	350	68,545	76,812

(単位:千円)

	その他 (注)	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	—	20,533,254	—	20,533,254
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	462,692	△462,692	—
計	—	20,995,946	△462,692	20,533,254
セグメント利益 又は損失(△)	△250	756,585	△149,720	606,864
セグメント資産	23,623	9,727,185	—	9,727,185
その他の項目				
減価償却費	—	93,157	—	93,157
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	76,812	—	76,812

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント (ASMO CATERING (TAIWAN) 事業) であり、現在当該事業を休止しております。

当連結会計年度(自 2024年 4 月 1 日 至 2025年 3 月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK) 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	4,778	3,922,896	8,469,326	5,464,049	2,668,605	20,529,656
セグメント間の 内部売上高又は振替高	140,000	48,392	286,523	—	—	474,915
計	144,778	3,971,288	8,755,850	5,464,049	2,668,605	21,004,571
セグメント利益 又は損失(△)	△99,090	35,355	232,678	316,771	△48,467	437,247
セグメント資産	2,997,956	907,830	1,891,064	2,993,170	513,772	9,303,793
その他の項目						
減価償却費	4,380	3,920	10,093	11,391	60,668	90,454
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	20,757	9,594	—	1,005	68,290	99,646

(単位：千円)

	その他 (注)	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	—	20,529,656	—	20,529,656
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	474,915	△474,915	—
計	—	21,004,571	△474,915	20,529,656
セグメント利益 又は損失(△)	△330	436,916	△140,077	296,839
セグメント資産	22,178	9,325,971	—	9,325,971
その他の項目				
減価償却費	—	90,454	—	90,454
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	99,646	—	99,646

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント (ASMO CATERING (TAIWAN) 事業) であり、現在当該事業を休止しております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	20,995,946	21,004,571
「その他」の区分の売上高	—	—
セグメント間取引消去	△462,692	△474,915
連結財務諸表の売上高	20,533,254	20,529,656

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	756,836	437,247
「その他」の区分の利益	△250	△330
セグメント間取引消去	△149,720	△140,077
連結財務諸表の営業利益	606,864	296,839

(単位: 千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,703,562	9,303,793
「その他」の区分の資産	23,623	22,178
連結財務諸表の資産合計	9,727,185	9,325,971

(単位: 千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	93,157	90,454	—	—	—	—	93,157	90,454
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	76,812	99,646	—	—	—	—	76,812	99,646

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	491.56円	491.76円
1株当たり当期純利益	34.90円	10.67円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	469,863	143,692
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	469,863	143,692
期中平均株式数(千株)	13,464	13,464

(重要な後発事象)

該当事項はありません。